

第一部：ヤスクニをめぐるトーク



高橋哲哉（たかはしてつや）

1956年福島県生まれ。東京大学大学院総合文化研究科教授。哲学者として、歴史認識・憲法・教育問題などにも論陣を張る。著書『靖国問題』（ちくま新書）は30万部のベストセラー。『戦後責任論』（講談社学術文庫）、『状況への発言—靖国そして教育』（青土社）、『憲法が変わっても戦争にならないと思っている人のための本』（斎藤貴男との共著、日本評論社）など、著書多数。



中島岳志（なかじまたけし）

1975年大阪府生まれ。北海道大学公共政策大学院准教授。大阪外国语大学でヒンディー語を専攻。大川周明の存在を通じて近代日本の政治思想に興味を持ち、20歳の頃からR・B・ボースの生涯を追いかける。京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科に進学し、1999年はじめてインドへ。ヒンドゥー・ナショナリストとの共同生活を通じて宗教とナショナリズムの問題を追及する。著書に『中村屋のボース インド独立運動と近代日本のアジア主義』、『パール判事 東京裁判批判と絶対平和主義』（白水社）、他。



韓明淑（ハン・ミョンスク）

1944年平壤生まれ。韓国・元総理。韓国で女性の地位向上に長年取り組み、金大中（キム・デジョン）政権で初代の女性部長官に就任、環境部長官を経て、盧武鉉（ノ・ムヒョン）政権では初の女性総理に抜てき。その間、国会議員を2期歴任。朴正熙（パク・チヨンヒ）政権時代の1970年代から女性人権・民主化運動に身を投じ、クリスチャン・アカデミー事件では2年間投獄された経験も。女性運動界の「ゴッドマザー」とも呼ばれる。日本軍「慰安婦」問題、統一問題で中心的な役割を担っている。



安田浩一（やすだこういち）

1964年静岡県生まれ。ジャーナリスト。「週刊宝石」（光文社）、「サンデー毎日」（毎日新聞社）記者などを経て独立。記者時代は各種事件以外に、警察不祥事、監視国家問題などを手がける。現在は外国人労働者の人権問題をはじめ、雇用・労働、憲法、表現規制などの分野について幅広く取材。主な著書に「JRのレールが危ない」（金曜日）、「JALの翼が危ない」（金曜日）、告発！逮捕劇の深層」（アットワークス）などがある。

第三部：平和コンサート



孫炳輝（ソン・ビョンフィ）

1967年慶尚北道・英陽生まれ。BSE反対100万のキャンドル集会で歌った韓国の代表的な386世代歌手。2002年ワールドカップとイラク派兵反対、大統領弾劾反対、日本軍慰安婦支援コンサートなど路上で大衆と呼吸しながら歌う、いわゆる民衆歌手。1987年高麗大学校在学時代に音楽に魅かれて歌を始めた『祖国と青春』など今まで12枚のアルバムを発表。2007年、1987年6月の民主化抗争20周年を迎えて『生86』という4集記念アルバムを出した。



安致環（アン・チファン）

1966年京畿道・梅香里生まれ。BSE反対100万のキャンドル集会で歌った韓国の代表的な386世代歌手。1989年大学生グループ『ノチャッサ』のメンバー。「広野で」「人は花より美しい」など1990年「アンチファンの歌集1」以降現在まで8枚のオリジナルアルバムを発表し、時代の精神と普通の人々の生を歌い続けている。「95年韓国プロデューサー連合会選定『歌手賞』受賞」、「99年文化観光省『今日の若い芸術家賞』大衆歌謡部門受賞」。



寿（ことぶき）

ナビイ(Vo) ナーチクヨシミツ(Gu&三線)の男女二人組。

1985年東京にて結成。バンド、ライヴ活動開始。海外はエストニア共和国～ソビエトTOUR(1991)中国アモイ。ベトナム・ダナン。フィリピン(1999)。モルジブ諸島。ケニア(2001)。チリ・サンチャゴ。タヒチ(2002)。ヨルダン・パレスチナ難民キャンプ(2004)。南インド・コ钦(2006)。琉球弧の島々で圧制を跳ね返し、歌い継がれる島唄とオリジナル・ソングを歌いライヴ活動にて国内、世界中を飛び回る。



平和コンサート終了後、出演者と共にキャンドルウォークを行います。

参加協力券がロウソクの引換券となりますので、ぜひご参加ください。



「靖国」の闇に分け入って—アートで表現する YASUKUNI—

2008年8月4日(月)～8月11日(月) (10:00～18:00、最終日16:00まで)

一つ橋画廊(日本教育会館1F)

出品作家

韓国：安星金（アン・ソングム）

洪成潭（ホン・ソンダム）+視覚媒体研究会

台湾：井上修（from 出草之歌）

沖縄：金城実

日本：井口大介／池田龍雄／大川祐／小島昇／富山妙子

—4地域のアーティストたちが靖国の闇を照らし、表現する初めての試み—

企画：古川美佳 広報：畠康彦

*特別参加

韓国の漫画家・高慶日（コ・ギョンイル）とその仲間たちによる「靖国風刺漫画展」

日本軍「慰安婦」問題を見つめ直す資料展示

■映画「あんによん・サヨナラ」上映

8月9日（土）11:00～ 日本教育会館901号室

靖国神社に父が祀られている李熙子（イ・ヒジヤ）さんの思いを描く日韓共同ドキュメンタリー

■美術展関連リレートーク「ヤスクニと表現」をめぐって

8月9日（土）13:00～ 日本教育会館901号室

針生一郎（文芸美術評論家）、鈴木邦男（一水会顧問）

毛利嘉孝（社会学者）、山口泉（作家）

安星金、洪成潭、金城実ほか、出品作家たちと語り合うヤスクニ